

TEL: 076-492-1192
TEL: 076-466-1888

書誌情報.. なぜ韓国はバチンコを全廃できたのか(祥伝社)、天皇家の隠し子(ダイアニックセラース出版) 秘密のスイーツ(ポプラ社)、国会議員の仕事(中央公論新社)

マイケル・サンデルの「正義」の話をしよう。この「正義」は、政治哲学や倫理、道徳を考へる本の刊行が相次いでいる。筆者が個人的に面白く読んだのは永井均の「倫理とは何か」猫のアインジヒトの挑戦。普段めづたに哲学書など読まないのですが、ねこがの表紙イラストと川上未映子の「つまりはもう、本当の二としか知りたくない人のための」といふ帯の惹句で購入。登場するのは倫理学のM先生、その講義を受講する祐樹君と千絵さん、そして猫のアインジヒト。

M先生による「アラトンとアリストテレス」(真の幸福について)「ホッブズとヒューム」(社会契約について)「ルソーとカント」(自由について)「ベンサムとミル」(功利主義について)「現代倫理学」(メタ倫理学と正義論)という各講義の合間に、アインジヒトが学生2人の講義への疑問・不満に答へつつ独自の説を展開していく(特権的「二一エ」

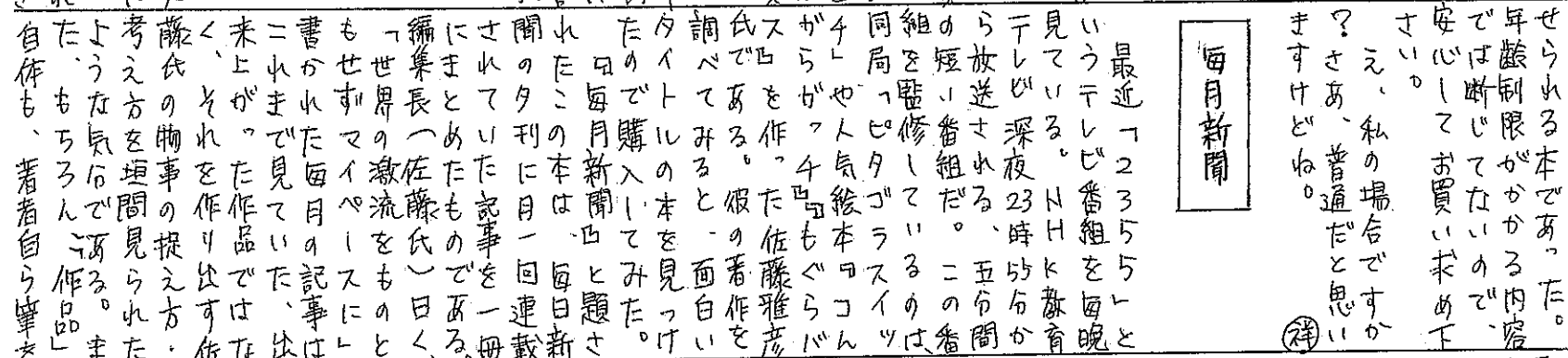
だけはアインジヒトが
 講義してくれろのだけ
 れど、それはなぜなの
 かも考えてみてほしい
 究極の利己主義猫で
 あるアインジヒトと道
 徳を擁護するハ先生の
 直接判決が本書最大の
 見せ場だが、そこに於
 てくる官澤賢治の毒も
 みの好きな署長さん
 という話が興味深い。
 毒もみ一川に毒を入れ
 て魚を取る）を取り締
 るべき署長さんこそが
 真犯人で死刑になる。
 「ああ、面白かった。
 おればもう、毒もみの
 ことときたら、全く落
 中なんだ。いよいよ二
 人とは、地獄で毒もみ
 をやるかな」と言って
 署長さんは死んでいく。
 そして最後の一文に、
 「みんなはす、かり感
 服しました」とあり、
 物語が終わる。
 なぜ自分の快樂のため
 だけに毒もみをした
 署長さんにみんな感服
 してしまうのでしょ
 うか？そして利己主義と
 道徳は本当に相容れな
 いのだらうか？アイン
 ジヒトによれば「ある
 もの」を持つたときに
 解決は訪れるというの
 だが、その「あるもの」
 とは一体何か？
 本書の二つが知りた
 ければ本書を讀もう。

(健)

ヒトは、高度な知性
を持つ。動物である。
この「動物」としての本
能や当然の生理現象は
「知性」の前では邪険
に扱われることが多い。
すなわち、とても恥
ずかしい。こゝに開
いては、三大欲求に名
を連ねながら、隠され
方が段違いである。隠
す方法のひとつとして
専ら施設を利用する
人も多いだろう。が、
そゝにもやはり従業員
が働いてゐる訳だ。
本来、人には見せぬ
ものである故、平均と
か普通とかが大好きな
日本人でも、かなり異
質な行動を起す。い
や、かなりぶつとんで
いる。詳しく書くと年
齢制限がかかるので割
合するが「日本人はH
ENTAI」というま
葉は信じずにはいられ
ない。



人の目を気にする人
々が隠し続けた本性に
驚かされるとともに、
人の目からは逃げ切れ
ないものだ」と諦めず



取った挿絵や、一面見
出しにも現れてゐる。
「文化の芋がゆ」など、
「6月30日」す、も
メ、のうち」など、
これまた面白いキャラ
コビーが溢れてゐる。
それぞれの記事の内容
はせむ本書で確認して
いただきたい。

幼児から大人まで幅
広い年代の人々に面白
い作品を作り続ける
佐藤氏、今後の活躍に
も期待したい。

(綱)

食料自給率のウソ

讀み進めていくうち
に、ふつふつと怒りが
湧いてくる。日本は
世界第五位の農業大
国、悪化の一途を辿
つてゐる日本の「食料自
給率」に隠されたカラ
クリを暴き、日本農業
の衰退を招いてゐる本
当の原因は何かに言
及した一冊だ。販売か
ら一年以上が経過した
現在も、じわじわと売
れ続けてゐる。

安価な輸入品との競
争、若者の就農離れ、
農業従事者の高齢化な
ど、我々の食生活を支
えてくれている日本の
農業は、多くの問題を抱
えた「衰退産業」だ
と言われている。これ
までは「食料自給率」
が上ければいいこと
なく、めのように思われ

る。しかし、本書の著者は、この「食料自給率」そのものがマユツバであると言明する。テレビも新聞も、あらゆるメディアがネガティブな情報をたれまわし、無闇に不安だけを煽る風潮がある昨今。氣を潰れてゐる情報を鑑みにし、安易に思考停止してしまふことが如何に危険か、再認識せられねば一冊である。

苦しみにありがとう

身長一六二センチの小柄な登山家、栗城忠久の言葉です。

大陸単独登頂成功？ 又はエベレストの最接近？ 挑戦？ 強？

「最近よくよく、いや、雑誌で見かけると、小柄で気弱な感じが、どうしてこんなに強くなれたのか不思議でなりません。この本には書いてあります。

極限の世界で不安定な暮らしと向きあう中で、生まれるバグやセリジ、それを収めた一冊です。

ヒマラヤなど、世界の美しい山々の写真、なかなかの見ものであります。

編集後記：地震が起きてTVはCMをせずに地震報道をしていた。この間の経費はどうやって賄ったかと思えば、四日目にバチンゴのCMが入った。報道機関も難しい状況である。